

# 次世代自動車用 プラスチックの現状と成形加工技術

日時：平成28年5月13日（金） 14：30～16：00

会場：鶴岡高専 視聴覚室

自動車製造は、近年、全製造業の約20%（47兆円）の出荷額となり、関連産業を含めて約600万人の雇用を生み出す日本の主要産業である。

これら自動車製造に関する開発・ものづくりは、軽量化素材開発、センサ技術開発を中心に発展すると考えられている。

特に、軽量化素材としてプラスチックに代表する高分子材料や、その複合材料が注目され、炭素強化複合材料やガラス代替の非晶性材料によるグレージングが挙げられる。

本講演では、自動車用素形材として注目されている**非晶性材料**や**各種複合材料の加工・構造・物性**について紹介するとともに、**新規加工技術の最新動向**を紹介する。さらに、今後の**自動車用素材のものづくり**について展望を述べる。

講師：山形大学 教授 大学院有機材料システム研究科長（工学部副学部長）

伊藤 浩志 氏

講師紹介：

1990年 山形大学大学院修了 工学修士

1990から1993年 沖電気工業（株） 研究員

1993から1996年 国立鶴岡工業高等専門学校 助手

1996年 山形大学 博士（工学）

1996から2007年 東京工業大学 助手

2007から現在 山形大学教授（2010年から）

専門：高分子成形加工、構造・物性、繊維・複合材料

所属学会：プラスチック成形加工学会（2010から2014年副会長）

国際高分子加工学会（PPS）（2014年からInternational representative）

Society of Plastics Engineers（2010年からCouncilor）、SPE日本支部理事

高分子学会、繊維学会、レオロジー学会、日本塑性加工学会



対象：全教職員、全本科5年生、全専攻科生のほか  
一般の方でもご参加いただけます。（事前に下記にお申し込み下さい）

お問合せ先：教務係 Tel 0235-25-9025  
〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104